

二次電池正極材活物質の粒径制御

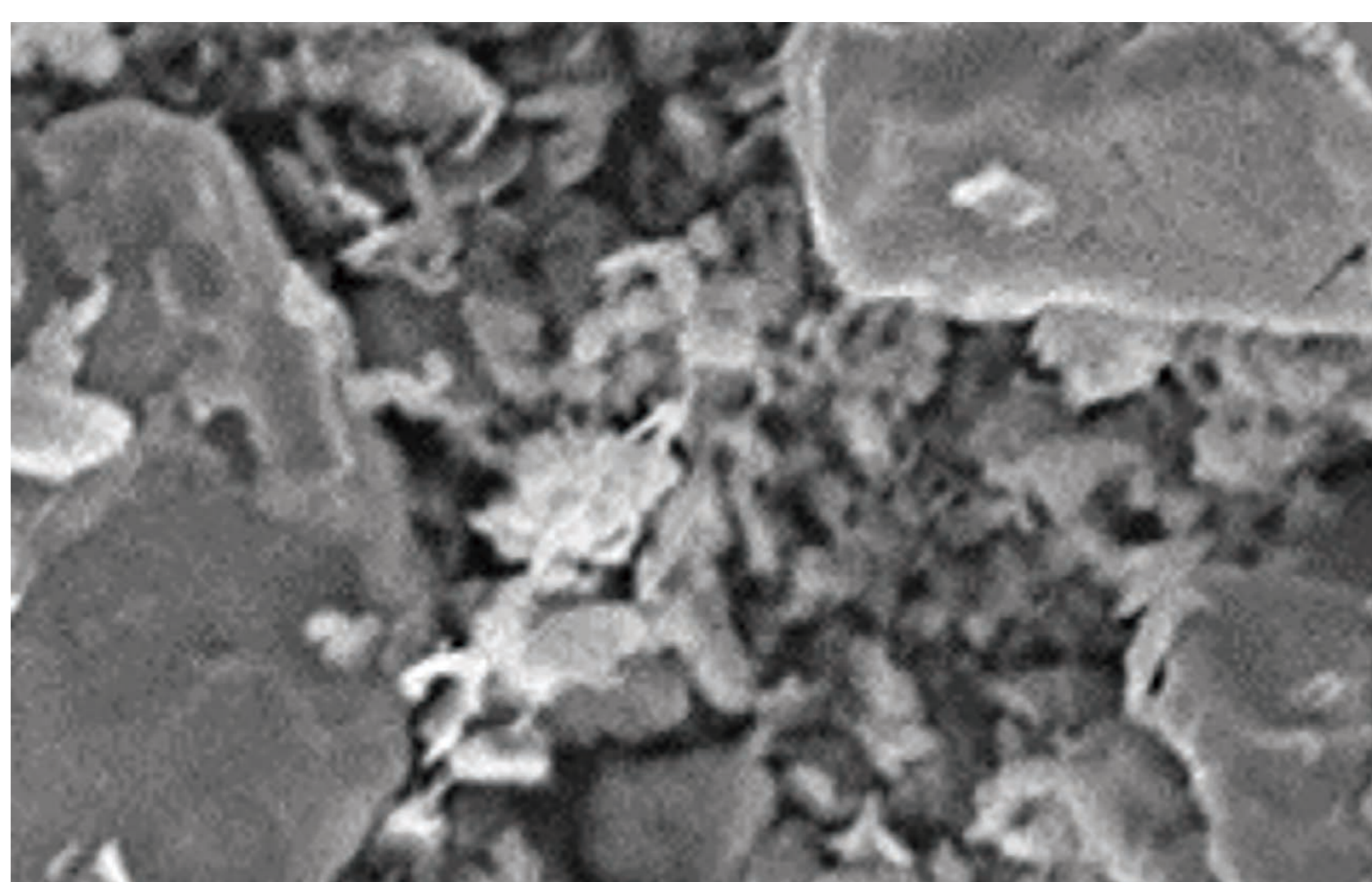
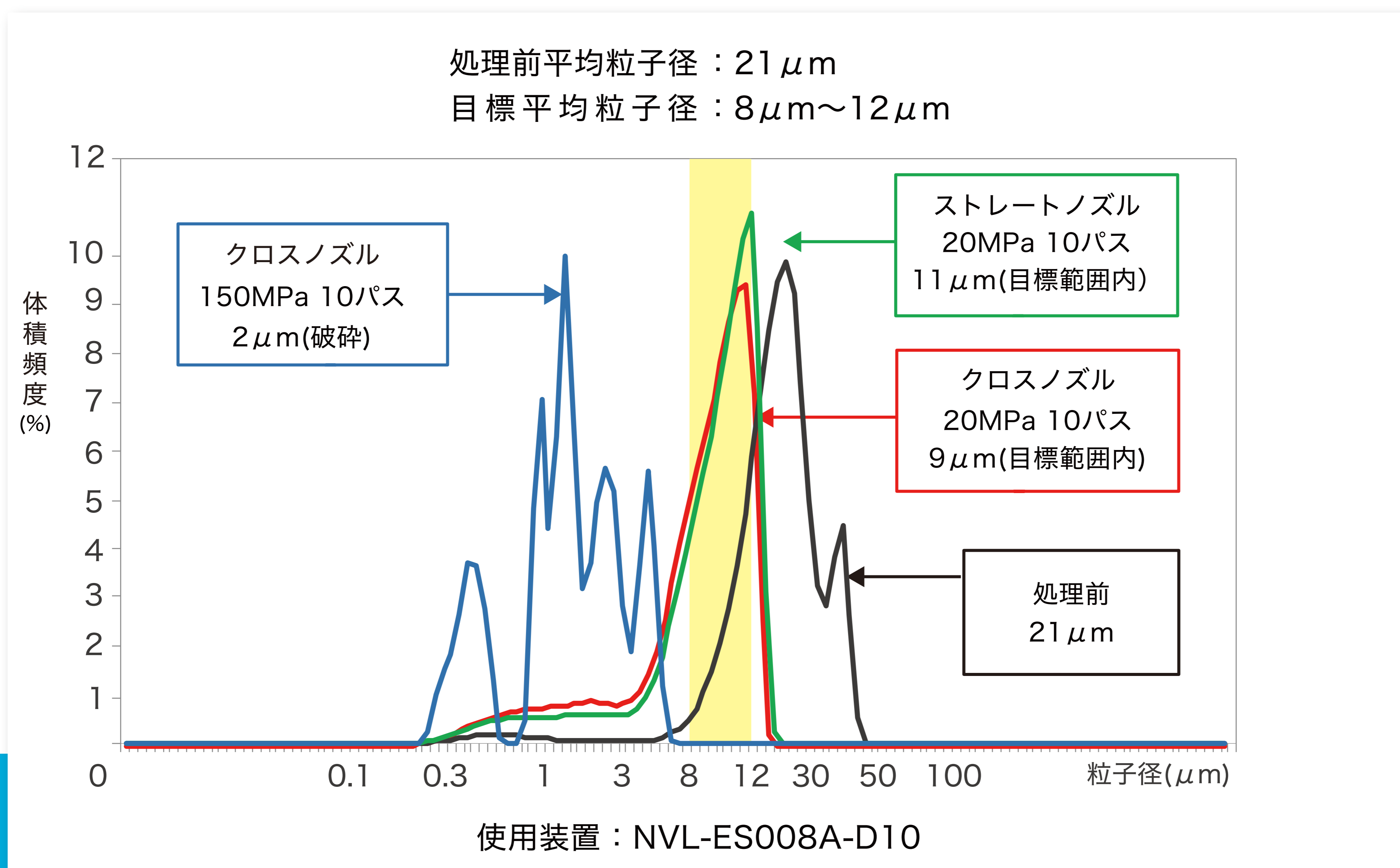
さらなる高密度・高充填のために

分散事例

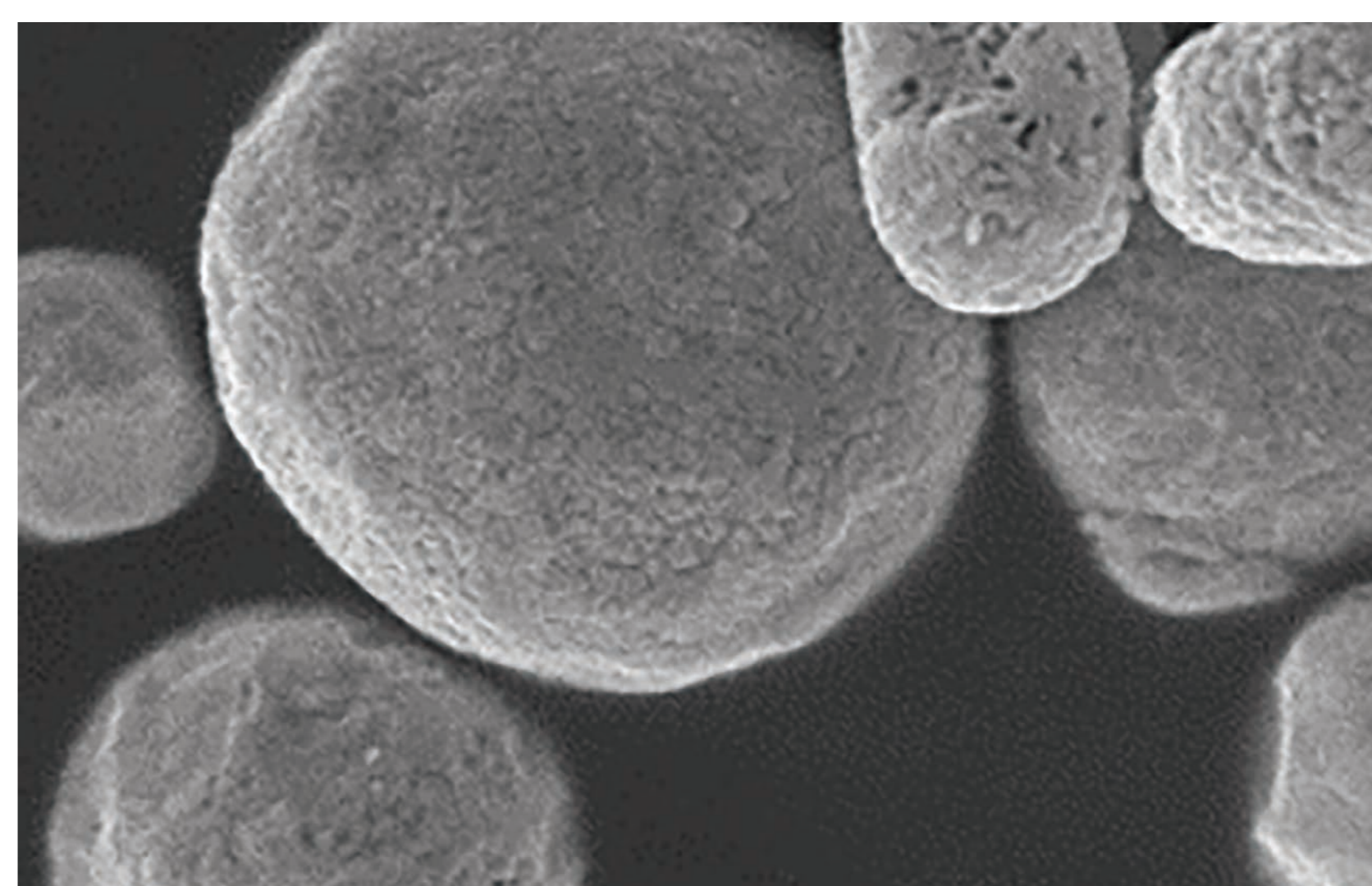
試験体：水酸化ニッケル（球状）
溶媒：水

導電性物質を被覆させる水酸化ニッケルの粒子径は $7\mu\text{m}$ 以下になると低密度化し、蓄電容量が減少してしまうため、粒子径は $8\mu\text{m} \sim 12\mu\text{m}$ の範囲内に制御することが必要です。

ナノヴェイタによる分散技術は、最適な粒子サイズへの制御を可能にします。



破砕例



最適な粒子径へ制御された分散事例